



《沢内村六月》[岩手県和賀郡沢内村] 1988年
 * [] 内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

草屋根と絵筆 向井潤吉のエッセイとともに

石川啄木が生まれ育ち、そして幾つもの名歌を残した浪民村も玉山村に改名して、何軒もあった大きい曲がり屋も火事で灰になって、同時に素朴さも薄れたようである。そしてその象徴が村の入口にあるドライブイン啄木、また姫神ドライブイン、そこで苦笑しながらコーヒーを飲んで一息ついて北進。しかしこの辺りから東北らしい風景が続いて、たとえ作品にならなくても充分に楽しい気分になれるのである。

「東北行」より 『落味』二六五号、一九七四年

2019.4.2 |火| » 10.6 |日|

開館時間 | 10:00 - 18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日は休館=5月7日(火)、7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)、9月24日(火))

* 4月23日(火) から5月6日(月・振替休日)までは開館します。

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上 / 中小生100円(80円)

* 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください

* () 内は20名以上の団体料金 * 小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
 TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

草屋根と絵筆

向井潤吉のエッセイとともに

戦後、一九四五年の晩秋から、失われゆく草屋根の民家を描き続けた画家・向井潤吉（一九〇一―一九九五）。向井は、日本各地を巡る旅の体験を綴った文章も数多く残し、それらには、訪れた土地での風景や人々との一期一会が、飾り気のない言葉で、時にユーモアを交えて語られています。私たちはそこから、変貌する戦後日本の側面を見つめ続けた一人の画家のまなざしと、消え去っていく風景への深い愛惜の念を読み取ることができます。

二〇一八年には、こうした旅の手記をはじめ、激動の二〇世紀とともに歩んだその人生における様々な回想などをまとめたエッセイ集『草屋根と絵筆 画家向井潤吉のエッセイ』（国書刊行会）も刊行されました。

本展では、民家シリーズの代表作をはじめ、向井のエッセイと、それにかかわる絵画作品をあわせて展示します。向井潤吉が、それぞれの制作地で得た感慨をエッセイから読み取っていただき、その人となりにつれていただく機会になればと思います。



《六月の田園》[岩手県岩手郡滝沢村]1971年



《聚落》[山形県東田川郡朝日村田麦俣]1966年



《大原新雪》[京都府京都市左京区大原]1981年



《春叢》[埼玉県東松山市神戸]1988年

イベント情報

担当学芸員によるギャラリートーク

4月13日(土)11:00～

9月21日(土)11:00～

*いずれも20分程度、
参加費無料(観覧料別途)、
事前申込不要

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

[交通案内] 東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分 / 東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分 / 東急バス(渋05) 渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分 / 東急バス(等11) 祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(等13) 梅ヶ丘駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(渋11) 渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分 / 東急バス(渋12) 渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

【休館のお知らせ】

向井潤吉アトリエ館は空調設備等の改修工事のため、2019年10月7日(月)から2020年4月上旬まで休館を予定しています。



© 宮本和義



世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL:03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



© 宮本和義

● 清川泰次 具象から抽象へのあゆみ
2019年4月2日(火)～10月6日(日)

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



© 宮本和義

● 宮本三郎 花々と、女たちと Women and Flowers
2019年4月2日(火)～10月6日(日)

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代表)

[展覧会のご案内]

TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)
<https://www.setagayamuseum.or.jp/>
*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催展

企画展

- 田沼武能写真展 東京わが残像1948-1964 || 2019年2月9日(土)～4月14日(日)
- ある編集者のユートピア 小野二郎:ウィリアム・モリス、品文社、高山建築学校 || 2019年4月27日(土)～6月23日(日)
- 高橋秀+藤田桜——素敵なふたり || 2019年7月6日(土)～9月1日(日)
- チェコ・デザイン100年の旅 || 2019年9月14日(土)～11月10日(日)

ミュージアム コレクション

- ミュージアム コレクションI <それぞれのふたり> 池田良二と海老塚耕一 || 2019年4月20日(土)～7月21日(日)
- ミュージアム コレクションII 森芳雄と仲間たち || 2019年8月3日(土)～11月24日(日)